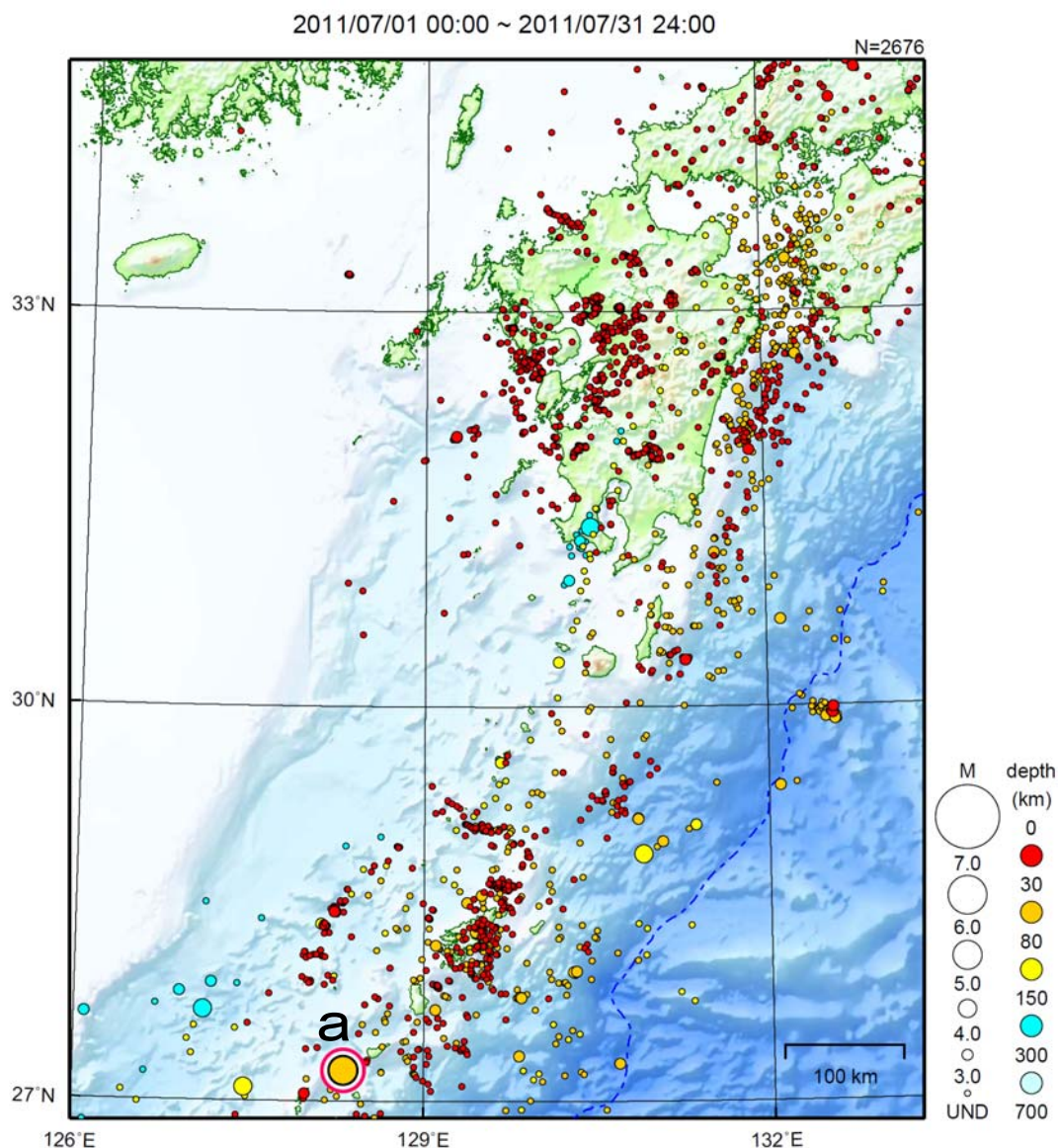


九州地方



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 7月21日に沖永良部島付近で M5.2 の地震（最大震度4）が発生した。

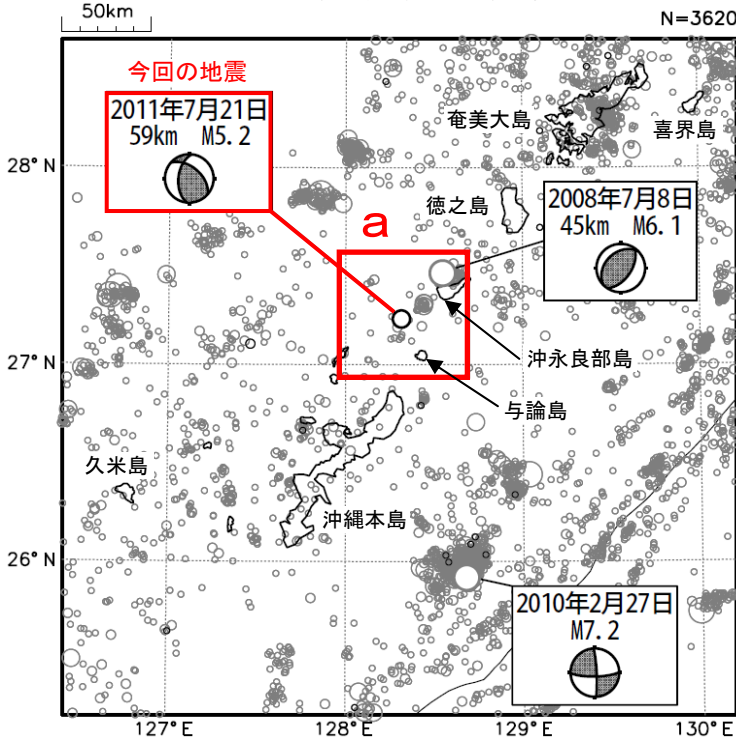
気象庁はこの地震に対して[沖縄本島近海]で情報発表した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

7月21日 沖永良部島付近の地震

情報発表に用いた震央地名は〔沖繩本島近海〕である。

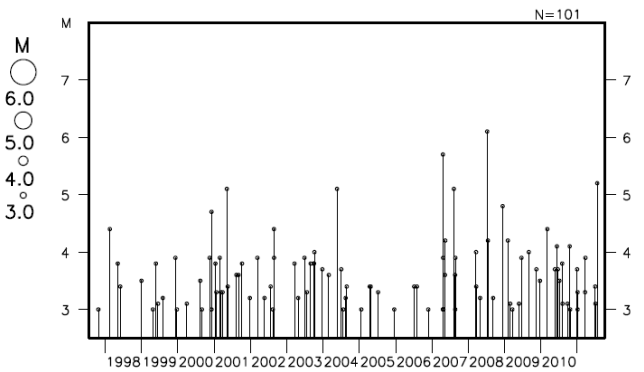
震央分布図（1997年10月1日～2011年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$ ）
2011年7月の地震を濃く表示。発震機構はCMT解。



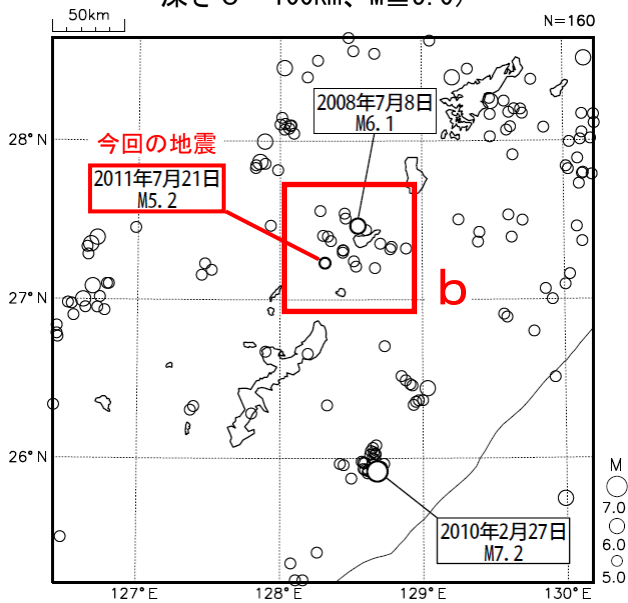
2011年7月21日04時18分に沖永良部島付近の深さ59kmでM5.2の地震（最大震度4）が発生した。発震機構（CMT解）は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0以上の地震が時々発生しており、2008年7月8日のM6.1の地震（最大震度5弱）では、住家の一部損壊の被害が発生した（総務省消防庁による）。

領域 a 内の地震活動経過図



震央分布図（1970年1月1日～2011年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ ）



1970年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域 b 内の地震活動経過図

